

月	時数	学習内容	評価規準			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用・技能	社会的事象についての知識・理解
4	1	オリエンテーション				
(9)		<p>《地理》第1編 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿【7時間】</p> <p>【単元の目標】</p> <p>○世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係を捉えるための知識と技能を身につけさせる。</p> <p>○地球儀や世界地図を活用し、生活舞台としての世界の地理への興味・関心を高めるとともに、緯度と経度による地球上の位置の表し方を身につけさせる。</p> <p>○目的に応じてさまざまな世界地図が考案されていることを取り上げ、その特色を地球儀との比較で理解させるとともに、地図帳および地球儀やさまざまな世界地図の適切な活用方法を身につけさせる。</p> <p>○現代の世界は、州や大陸およびそれらをいくつかに分けた地域で捉えられていることや、さまざまな国々から構成されていることを理解させる。</p> <p>○人口の多い国と少ない国、国名の由来、大きい国と小さい国、国境の意味、遠い国、海洋国と内陸国などの視点から世界の国々を大観させ、主な国々の位置や国名知識を身につけさせるとともに、世界の地理への関心を高めさせる。</p> <p>○目安となる緯度・経度や大陸の形状や位置関係などを踏まえて世界の略地図の描き方を身につけさせる。</p>				
	1	1 地球の姿を見てみよう (p.6~7) ・六大陸と三大洋	・衛星写真や地球儀を活用し、大陸と海洋の大まかな形状と位置関係を意欲的に追究し、とらえようとしている。			・六大陸と三大洋の名称と位置、大きさについて理解し、その知識を身につけている。
	1	2 地球儀と世界地図を比べてみよう (p.8~9) ・地球儀と世界地図の特徴	・	・さまざまな世界地図(地球儀を含む)を比較し、何のために作られてどのように使用されているのかを多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	・さまざまな地図の長所と短所を理解し活用するための知識を身につけ、面積や距離、方位などを調べるための技能を身につけている。	
	1	3 地球上の位置を表そう (p.10~11) ・緯度と経度 ・緯度のちがいと気温の変化		・地球上の気温の変化がなぜ起こってくるのかを、緯度の違いから考察し、地球儀などを活用して適切に表現している。	・緯度と経度を利用して特定の国や都市の地球上の位置を適切に表すことができている。	
	1	4 世界の国々と地域区分 (p.12~13) ・世界の独立国と地域 ・世界のおおまかな分け方			・世界の略地図を赤道や本初子午線、大陸の形状や海洋との位置関係を踏まえて描き、これまでの学習内容を適切にまとめることができている。	・世界はどのように地域区分されているのかを理解し、その知識を身につけている。
	3	5 主な国々の国名と位置 (p.14~19) ・人口の多い国 ・大きい国と小さい国 ・国境の決まり方 ・日本から遠い国 ・国旗は物語る	・時事的な問題を基に、現代世界を構成しているさまざまな国の名称や位置を意欲的に調べている。	・直線的な国境線とその他の国境線が引かれた原因を、それぞれ地形図を基に読み取り、なぜそのように引かれるに至ったのかを考察している。	・教科書および地図帳の統計資料を活用して、各国の面積や人口について適切に調べている。	・日本からもっとも遠い位置にある国々について理解し、その知識を身につけている。
		<p>《地理》第2章 世界各地の人々の生活と環境【10時間】</p> <p>【単元の目標】</p> <p>○地域で異なる自然環境の違いを写真や映像資料、雨温図、統計資料から捉えさせる。</p> <p>○人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件の下で多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化を尊重する態度を身につけさせる。</p> <p>○同じ地域における過去と現在の生活を比較し、その変容に着目させて人々の生活が可変的であることに気づかせる。</p> <p>○世界にはさまざまな宗教や宗教と関わりが深い生活が営まれていることを理解させるとともに、同じ地域においても宗教その他の社会的条件によって生活の違いがあることに気づかせる。</p> <p>○世界的に広がる宗教の分布を、主題図を用いて読み取るとともに、それらの広がりや大まかに把握させる。</p>				
	1	世界のさまざまな住居 (p.22~23)				
5	1	1 雪と氷の中で暮らす人々 (p.24~25) ・氷の上の暮らしと知恵 ・雪と氷の世界 ・イヌイットの暮らしの変化		・過去と現在のイヌイットの生活を比較し、その変容がどのような条件によるのかを考察し、分かりやすく発表している。	・イヌイットの生活の舞台を調べるために、雨温図の読み取り方を身につけている。	
(11)	1	2 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 (p.26~27) ・世界で一番寒い場所 ・木や作物が育つ暑い夏 ・都市のくらしとレジャー			・写真や映像資料、雨温図などから、日本の自然環境との違いを読み取っている。	・シベリアに住む人々の生活の様子を理解し、それらの特色を自然環境と関連づけて説明できる知識を身につけている。
	1	3 温暖な土地に暮らす人々 (p.28~29) ・丘の上に栄えるイタリアの町 ・乾燥した夏と雨が多い冬 ・現代に生きる古くからの町並み	・伝統を守り、古い町並みを保存しようとするイタリアのペルージャの人々の努力に関心を持ち、また異なる文化を尊重する態度を身につけて	・温帯の気候で生活している人々の暮らしを、自分たちの生活と比較しながらその特色を考察し、その結果を適切に発表している。		

		いる。			
1	4 乾燥した土地に暮らす人々 (p. 30～31) ・サヘルの人々の暮らし ・乾燥した大地 ・変化するサヘルの生活と環境		・乾燥した地域で暮らす人々の生活や文化が生まれた背景と変化の過程について、自然的条件や社会的条件を踏まえて考察し、その考察の結果を論述している。		・サヘルに住む人々の生活の様子を理解し、それらの特色を自然環境と関連づけて説明できる知識を身につけている。
1	5 常夏の島で暮らす人々 (p. 32～33) ・自給自足に近いフィジー ・いつでも豊富な果物と作物 ・さんご礁と観光開発	・自然豊かなフィジーで、観光や地域開発のためにその自然を破壊するといった地域特有の課題があることに気づき、その解決へ向けて関心を持っている。	・熱帯の気候に暮らす人々の生活の様子を考察し、農産物や食生活などに関連づけて論述している。		
1	6 標高の高い土地に暮らす人々 (p. 34～35) ・山を登り下りする生活 ・標高によって異なる環境 ・ゆるやかに変化する暮らし	・高地に暮らす人々の生活やその変化に興味や関心が高まり、さまざまな資料を活用して追究し、意欲的に取り組んでいる。			・高地における農牧業を、既得知識としてある農産物などに関連づけて理解し、その知識を身につけている。
1	7 世界に見られるさまざまな気候の広がり (p. 36～37)		・各気候区の特徴を、風景や植生写真、雨温図、気候区分図などの関連から、考察している。		・これまで学んできた世界各地のさまざまな気候は、さらに細かく区分できることを気候区分図から理解している。
1	8 人々の生活に根付く宗教 (p. 38～39) ・世界のさまざまな宗教と広がり ・インドの人々の暮らしと宗教 ・ヒンドゥー教の決まりごと			・世界的に広がる主な宗教の分布の様子を、主題図から読み取っている。	・世界的に広がる主な宗教の分布の広がりや生活との関わりを大まかに把握し、具体的な例を挙げて地球儀や世界地図を用いて説明できる知識を身につけている。
1	9 伝統的な生活とその変化 (p. 38～39) ・環境に適応した暮らし ・多様化した食生活 ・都市の風景と伝統的な生活		・世界各地では、環境との関わりやさまざまな条件の下で多様な生活が営まれていることを、自分たちの生活との比較や地域における過去と現在などの比較を通して考察し、自分の考えを適切に発表している。		・自然的条件や社会的条件によって人々の生活が成立し、変化していくことを理解している。
2	まとめ				
6 (12)	<p>《歴史》第1章 歴史の流れをとらえよう【6時間】</p> <p>【単元の目標】</p> <p>○歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。</p> <p>○小学校の学習との関連を図りながら中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めさせる。</p> <p>○時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。</p>				
3	1 身近なものにも歴史がある！？ (p. 5～9) 2 「歴史の流れ」から思い出してみよう (p. 10) 3 「歴史の流れ」からまとめてみよう (p. 11)	・日本の歴史上の人物や出来事などについての関心高め、意欲的に学ぼうとしている。	・歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりして、その過程や結果を適切に表現している。		
3	4 歴史の調べ学習をするには…？ (p. 12～18)	・図書室やインターネットを活用して、意欲的に資料を収集し、まとめている。		・まとめたことを的確にカードや年表に表現し、分かりやすく発表している。	・年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解し、大きな時代の移り変わりに気づいている。
<p>《歴史》第2章 古代までの日本【16時間】</p> <p>【単元の目標】</p> <p>○日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連づけて理解させる。</p> <p>○大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きくとらえさせる。</p> <p>○古代の日本において、国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを、代表的な事例を取り上げて理解させるとともに、日本の文化財に対する関心を持たせる。</p>					
1	■古代までの日本 (p. 19～21)				
1節 世界の古代文明と宗教のおこり					
1	1 人類の出現と進化 (p. 22～23) ・人類の出現		・旧石器時代と新石器時代の違いについて考察し、その結果を適切に表		・人類の進化の過程について、その概略を捉えている。

		・新石器時代		現している。		
	1	2 文明のおこりと発展 (p. 24～25) ・文明のおこり ・文明の発展	・古代文明に関する建造物や文化財に関心を持ち、意欲的に学習している。	・文字や金属器の使用など、古代文明の共通点について考察し、その結果を適切に表現している。		
	1	3 中国文明の発展 (p. 26～27) ・中国文明の発生 ・統一帝国の成立		・資料を活用して、中国から日本へ伝わった文物の特色について考察している。		・中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。
	1	4 ギリシャ・ローマの文明 (p. 28～29) ・ギリシャの都市国家 ・ヘレニズム ・ローマ帝国	・ギリシャ・ローマの文明に関心を持ち、意欲的に学習している。		・資料を通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを捉えている。	
	1	5 宗教のおこりと三大宗教 (p. 30～31) ・宗教のおこり ・仏教のおこり ・キリスト教のおこり ・イスラム教のおこり			・地図から、古代の宗教が興った地域を文明地域との重なりに気づいている。	・仏教、キリスト教、イスラム教の特色を大まかに捉えている。
7 (9)	2節	日本列島の誕生と大陸との交流				
	1	1 日本列島の誕生と縄文文化 (p. 32～33) ・日本列島の誕生 ・縄文文化	・さまざまな遺物や遺跡の発掘など考古学の成果に関心を持っている。		・さまざまな資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特色について捉えている。	
	1	2 弥生文化と邪馬台国 (p. 34～35) ・弥生文化の成立 ・国々の誕生 ・邪馬台国の女王	・さまざまな遺物や遺跡などから、弥生時代の人々の生活に関心を持ち、意欲的に学習している。	・中国の文献などから、国家が形成されていく過程について考察している。		
	1	3 大王の時代 (p. 36～37) ・大和政権の発展 ・古墳文化 ・中国・朝鮮半島との交流 ・大陸文化を伝えた渡来人			・大和政権の国内統一の過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して、捉えている。	・遺物や遺跡などの具体的な資料を通して、古墳文化の特色を理解している。
	3節	古代国家の歩みと東アジア世界				
	1	1 聖徳太子の政治改革 (p. 38～39) ・聖徳太子の政治 ・飛鳥文化	・聖徳太子の政治や飛鳥文化に関心を持ち、意欲的に学習している。	・聖徳太子の政治の目的について考察し、その結果を適切に表現している。		
	1	2 大化の改新 (p. 40～41) ・大化の改新 ・律令国家への歩み			・大化の改新から律令国家の確立に至るまでの経過を的確にまとめている。	・大化の改新とその後の政治の展開について理解している。
	1	3 律令国家の成立と平城京 (p. 42～43) ・大宝律令 ・都と国	・自分たちが生活している地域の国名・郡名などについて意欲的に調べ、関心を持っている。	・平城京について調べ、天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について考察している。		
	1	4 奈良時代の人々の暮らし (p. 44～45) ・人々の身分と負担 ・土地の私有と荘園			・資料から、貴族と農民の食事や住居を比較して、奈良時代の人々の生活の様子を読み取っている。	・聖徳太子の政治改革などにより、公地・公民の原則が崩れていった経過を理解している。
	1	5 天平文化 (p. 46～47) ・天平文化 ・奈良時代の仏教と社会 ・歴史書と万葉集	・奈良時代の寺院や仏像に関心を持ち、意欲的に学習している。			・天平文化が、仏教の影響や大陸との交流によって生まれたことを理解している。
	1	6 平安京と東アジアの変化 (p. 48～49) ・平安京 ・最澄と空海 ・東アジアの変化と遣唐使の停止		・唐から伝わった新しい仏教と新しい仏教と奈良時代の仏教との違いについて考察し、その結果を適切に表現している。		・桓武天皇の政治の目的、内容などについて理解している。
	1	7 摂関政治と文化の国風化 (p. 50～53) ・摂関政治 ・国風文化 ・浄土信仰			・系図などの資料から、藤原氏が摂政や関白の地位を独占した理由を読み取っている。	・仮名文字の成立や文学作品などから、この時代の文化の特色を理解している。
8	3	まとめ				

(3)					
9 (12)	<p>《地理》第3章 世界の諸地域【22時間】</p> <p>【単元の目標】</p> <p>○世界の諸地域の地域的特色を理解するために、それぞれの地理的事象に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究させる。</p> <p>○世界の諸地域の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果をさまざまな手法で表現させる。</p> <p>○世界の諸地域に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連づけなどの地理的技能を育ませる。</p> <p>○世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につけさせる。</p>				
	1節 アジア州—急速に進む成長と変化—				
1	1 アジア州をながめて (p.44~47)	・変化に富む自然環境 ・入り交じる文化 ・都市化が急速に進むアジア	・アジア州の概観を通して、特に経済成長に関心を持って、それに関して意欲的に追究しようとしている。		・変化に富む自然環境や、文化が入り混じっていることや、都市化が急速に進むアジア州の概観を理解している。
1	2 成長する東アジア① アジア NIES の出現 (p.48~49)	・東アジアの産業の変化 ・輸出とともに成長した韓国 ・ハイテク産業が発展する台湾		・アジア NIES の発展は、海外への輸出や海外の技術を学んだことによることを適切に表現している。	・アジア NIES の輸出品の変化と輸出品の内訳のグラフから、アジア NIES の工業化の様子を読み取っている。
1	3 成長する東アジア② 中国の発展 (p.50~51)	・巨大な人口が支える成長 ・拡大する格差と西部大開発 ・進む都市化と課題	・経済成長の一方で経済格差が広がっていることに関心を持っている。		・中国の工業化が進んだ理由を、政策と人口の面から捉えている。
1	4 東南アジアの発展と課題 (p.52~53)	・増える日本への輸出 ・農村の暮らしの変化 ・急速な都市化と課題	・東南アジアと自分たちの生活との関わりに関心を持ち、その理由を意欲的に調べている。	・東南アジアの都市と農村の変化について、機械化、若者、都市問題の三つの語句を使って説明している。	
1	5 南アジアで急速に成長するインド (p.54~55)	・活発な世界各地との交流 ・変わる都市と農村 ・経済の自由化と工業の成長	・経済成長の問題点について関心を持ち、日本の共通点があることなどに関心を持っている。		・資料から、インドの工業発展の様子とその問題点を捉える。
1	6 資源の豊かな西アジア・中央アジア (p.56~57)	・イスラム教徒が多い西アジア		・資料から西アジアと中央アジアの共通点と違いについて考察し、それを適切に表現している。	・写真などの資料から、西アジアや中央アジアの国々が鉱産資源に頼っていることを読み取る。
	2節 ヨーロッパ州—国どうしの統合による変化—				
1	1 ヨーロッパ州をながめて (p.60~63)	・温暖な気候と広い平野 ・多くの国々 ・地域により異なる農業 ・近代工業の発展	・ヨーロッパ州を概観する中で、国家間の統合に関心を持ち、その過程を意欲的に追究している。		・小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、世界経済における地位が低下してきたことなどを概観し、理解している。
1	2 ヨーロッパ文化の共通性 (p.64~65)	・表現が似ているあいさつ ・キリスト教の信仰 ・多様な民族と共通の文化	・表現の仕方が似ているあいさつや、キリスト教の信仰など、ヨーロッパにおける共通の文化に対する関心を持っている。		・ヨーロッパ州の国々の文化について、似ている点を二つ挙げ、統合を進めることができた理由について理解している。
1	3 進むヨーロッパ統合 (p.66~67)	・国境をこえた統合 ・工業の変化 ・統合の進展と人々の生活		・EU 統合の内容について、工業、人々の移動、交通の三つの視点から説明している。	・ヨーロッパ州が統合してきたことを、交通、通勤、買い物、通貨などのさまざまな資料を関連づけることで読み取っている。
1	4 ヨーロッパの課題とロシア連邦 (p.68~69)	・EU のかかえる課題 ・EU とつながるロシア連邦		・EU 諸国とロシア連邦の結びつきについて、写真や主題図を用いて説明している。	・EU 加盟国の一人あたりの国民総所得や、ロシア連邦とその周辺の鉱工業の主題図から、それぞれの地域の国民生活の様子を読み取っている。
	3節 アフリカ州—特定の生産品にたよる生活からの変化—				
1	1 アフリカ州をながめて (p.72~75)	・広大な砂漠が広がるアフリカ ・アフリカの歩み ・独自の言語と公用語 ・伝統的な文化と産業	・アフリカ州を概観する中で、産業の変化に関心を持ち、その過程を意欲的に追究している。		・広大な砂漠を持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。
10	1	2 アフリカの産業と新たな開発	・アフリカ州の産業と日		・アフリカ州の農業と工

(10)		(p. 76~77) ・世界に輸出されるカカオ ・プランテーション農業と農牧業 ・豊富な鉱産資源 ・アフリカの産業の仕組み	本人の日常生活との関わりに関心を持ち、アフリカの農業や工業を意欲的に調べようとしている。		業の特色や問題点を、さまざまな資料の関連づけから読み取っている。	
	1	3 アフリカの課題と展望 (p. 78~79) ・進む都市化 ・発展への課題 ・地域の統合と自立への交流		・写真や表から、アフリカ州では都市化が進む一方で、農村地域との格差や生活水準が異なることを説明している。		・現在のアフリカ州が持つ課題について、三つの視点(都市化、人口、環境)を踏まえて理解している。
4節 北アメリカ州—盛んな農業や工業の特色—						
	1	1 北アメリカ州をながめて (p. 82~85) ・大陸と島々 ・人々と文化 ・産業と経済の地域差	・北アメリカ州を概観する中で、産業に関心を持ち、その特色を意欲的に追究している。			・大陸と島々からなる自然、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、理解している。
	1	2 広大な国土と工業化した農業 (p. 86~87) ・農業に適した広い土地 ・大規模で工業化した農業 ・農業に進出する企業		・アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの特色から説明している。	・アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、主題図や写真などのさまざまな資料を関連づけて読み取っている。	
	1	3 工業の発展と工業地域 (p. 88~89) ・豊かな資源を利用した工業 ・情報化と新しい工業の発展 ・経済を支える人々			・アメリカ合衆国の大西洋岸や五大湖沿岸と、サンベルトの二つの工業地域などについて、主な工業の種類とそれが発展した理由を比べて、表にまとめている。	・アメリカ合衆国では、移民が産業の発展に重要な役割を果たしてきたことを理解している。
	1	4 産業を支える新しい文化と人々 (p. 90~91) ・快適な生活の追求 ・豊かな国を支える人々	・日本にも広がるショッピングセンターやファストフードなど、世界に広がるアメリカ文化に関心を持っている。	・アメリカ合衆国・カナダ、メキシコ・中央アメリカ・西インド諸島の二つの地域に見られる人々と企業の特徴について説明している。		
5節 南アメリカ州—開発の進展と環境問題—						
	1	1 南アメリカ州をながめて (p. 94~97) ・南北に長い大陸 ・混じり合う人々と文化 ・都市と産業の発達	・南アメリカ州を概観する中で、環境の変化に関心を持ち、その過程を意欲的に追究している。			・南北に長い大陸の自然、混じり合う文化、都市と産業の発達などの特色を概観し、理解している。
	1	2 自然環境と共生する人々 (p. 98~99) ・アマゾン川と暮らす人々 ・森林で暮らす人々 ・草原で暮らす人々		・南アメリカの特徴的な地域である、アマゾン川、森林、草原の各地域で盛んな産業を説明している。	・南アメリカ州の自然環境の特色を、さまざまな資料の関連づけから読み取っている。	
	1	3 開発の進行とその影響 (p. 100~101) ・アマゾン地域の開発 ・食料とエネルギーの増産 ・開発と環境保護の課題		・アマゾン地域の開発や、食料・エネルギーの増産のための開発によって起きた環境問題に共通する原因を説明している。	・アマゾン川流域の自然環境の特色を、さまざまな資料の関連づけから読み取っている。	
6節 オセアニア州—強まるアジアとの結びつき						
	1	1 オセアニア州をながめて (p. 104~107) ・「乾燥大陸」と多くの島々 ・オセアニアの文化 ・変化するオセアニアの経済	・オセアニア州を概観する中で、アジア州との結びつきに関心を持ち、その過程を意欲的に追究している。			・乾燥大陸と島々から成る自然、先住民の文化、観光や貿易を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。
	1	2 資源によるアジアとのつながり (p. 108~109) ・変わる輸出品と貿易相手国 ・自然環境に応じた農牧業 ・豊富な資源を生かした国際関係		・オーストラリアからアジア州への輸出が増えた理由を説明している。	・オーストラリアの農牧業や鉱産資源の特色を、さまざまな資料を関連づけながら読み取っている。	
11 (12)	1	3 人々によるアジアとのつながり (p. 110~111) ・白豪主義からの転換 ・多文化社会を目指して ・増大するアジアからの観光客	・オセアニア州と日本との結びつきや関わりに関心を持っている。	・オセアニア州の人が、アジア州の人に対して、オセアニア州をアピールするためのキャッチフレーズを考え、議論したり、意見交換したりしている。		
	1	まとめ				
<<地理>>第4章 世界のさまざまな地域の調査【6時間】 【単元の目標】						

○学習した地理的事象や日常生活、報道などによる話題などの地理的事象に興味・関心を持たせ、設定した課題の解決に向けて問題解決的な調査活動や探究的な学習に意欲的に取り組ませる。

○世界の人々はそれぞれの地域で、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを考えさせ、世界の地理的認識を深めさせる。

○調査活動や調査結果のまとめなどのさまざまな学習活動を通じて、言語能力を高めさせる。

○直接経験地域でない世界のさまざまな地域または国の調査を行う際の視点を身につけさせる。

○調査結果の分析や調査結果の発表の学習活動を通じて、地理情報の適切な処理方法や地理的技能を身につけさせる。

1	1 情報を集めて調査テーマを決めよう (p. 116～117) ・調べたいことの見つけ方 ・調査テーマの決め方	・自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、他地域との比較、結び付き、生活・文化等に目し、調査テーマとして取り上げたい地理的事象を発表したり、情報を集めたりするなど、学習内容に関心を高めている。	・ウェビングマップの作成などを通して、世界の人々の生活の多様性や地域的特色を捉えるためのテーマを設定している。
1	2 調査の準備をしよう (p. 118～119) ・仮説の立て方 ・調査計画の立て方		・自分なりの根拠を入れた具体的な仮説を設定し、またその仮説をいつ、どのような方法で調査していくのかを考えた調査計画書を作成している。
1	3 調査をしよう (p. 120～121) ・国の調べ方	・テーマの解決に向けて、地域的特色を明らかにすることに関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・本、ガイドブック、ウェブページ、統計資料を活用したり、収集した情報を組み合わせたりすることで、その国の特色を読み取っている。
1	4 調査のまとめをしよう (p. 122～123) ・調査の考察とまとめの方法		・調査で収集した資料を視点や方法を多面的・多角的に考察し、仮説の検証をしている。
1	5 調査の発表をしよう (p. 124～125) ・さまざまな発表方法 ・発表会を成功させるには	・他の人の発表を聞くことで、世界の人々の生活の多様性や地域的特色を、一般的共通性と地方的特殊性の両面から考察している。	・世界のさまざまな地域または国の人々の暮らしについて、その共通性や異質性等から追究し、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを考察し、その過程や結果について発表している。
3	まとめ		

《歴史》第3章 中世の日本【16時間】

【単元の目標】

○武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。

○モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接なかわりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解させる。

○畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。

○武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げてとらえさせ、その中で現在に結び付くものに関心を持たせる。

1	■中世の日本 (p. 63～65)		
1	1節 武士の台頭と鎌倉幕府		

12 (9)	1	1 武士の成長 (p. 66～67) ・武士の登場 ・武士団と荘園	・武士が成長していったことを、政治の動きと関連づけて考察している。	・武士の成立過程を、導入資料などから読み取っている。
	1	2 武士の政権の成立 (p. 68～69) ・院政と武士 ・源平の争乱	・平氏の政治の特色を、摂関政治との共通点に着目して考察し、その結果を適切に表現している。	・源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。
	1	3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (p. 70～71) ・鎌倉幕府の始まり ・執権政治	・武士の生活や生き方に関心をもち、意欲的に学習している。	・文書資料から、幕府と朝廷の勢力関係、将軍と御家人の関係を読み取っている。
	1	4 武士と民衆の生活 (p. 72～73) ・地頭の支配 ・武士の生活 ・民衆の動き		・絵巻物などの資料から、武士の生活の様子を読み取っている。 ・鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達とそれに伴う生活の向上について理解している。

1	5 鎌倉時代の文化と宗教 (p. 74～75) ・鎌倉文化 ・鎌倉仏教の教え	・鎌倉時代の建築・彫刻・文学作品に関心を持ち、意欲的に学習している。	・鎌倉時代の仏教が多くの人々の間に広まったことを、教えの特色や社会の動きと関連させて考察している。		
2節 東アジア世界との関わりと社会の変動					
1	1 モンゴルの襲来と日本 (p. 76～77) ・モンゴル帝国の拡大 ・二度の襲来 ・鎌倉幕府の滅亡		・モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を、御家人の動きから考察している。	・絵画資料から、モンゴル軍の特徴を読み取っている。	
1	2 南北朝の動乱と室町幕府 (p. 78～79) ・南北朝の動乱 ・室町幕府の発展 ・守護大名と地方の動き		・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。		・新たな権限を持った守護が守護大名となり、後の政治に影響を及ぼすことに気付いている。
1	3 東アジアとの交流 (p. 80～81) ・日明貿易 ・朝鮮との貿易 ・琉球王国の成立 ・アイヌ民族の交易			・地図を活用して、日明貿易の様子、琉球の役割、蝦夷地の動きなどを読み取っている。	・琉球が中継貿易で栄え、中国・朝鮮・東南アジアを結び付けていたことを理解している。
1	4 産業の発達と民衆の生活 (p. 82～83) ・農業の進歩と手工業の発展 ・商業の発展と都市の成長 ・村の自治		・農業や商業・手工業の発達が当時の社会に及ぼした影響について考察している。	・文書資料や碑文などから、民衆の成長の様子を読み取っている。	
1 (5)	1 5 応仁の乱と戦国大名 (p. 84～85) ・応仁の乱 ・戦国大名の登場と城下町	・自分たちが住む地域の戦国大名に関心を持ち、意欲的に学習している。		・さまざまな資料から、下剋上の風潮が全国に広がったことを読み取っている。	
	1 6 室町文化とその広がり (p. 86～87) ・室町文化 ・武士の文化の成長 ・民衆への文化の広がり	・町時代の生活文化に関心を持ち、意欲的に学習している。			・室町時代に生まれた事象で、現代に受け継がれているもの気づいている。
	3 まとめ				
<<地理>>第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿【5時間】 【単元の目標】 ○日本の国土の位置および領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観させる。 ○経度の違いが、自分たちの生活にどのように影響するのか、標準時と時差の仕組みを踏まえて大観させ、地球上における日本と世界各地との位置関係を捉えさせる。 ○都道府県と県庁所在地の名称と位置を地図上で確実に身につけさせるとともに、地名への関心を高めさせる。また、日本の略地図の描き方を身につけさせる。 ○日本の地域構成の基本的な枠組み(地域区分)を捉える活動に意欲を持って取り組ませるとともに、地図を活用する方法を身につけさせる。					
2 (9)	1 1 日本の位置を調べよう (p. 128～129) ・日本の位置を説明してみよう ・さまざまな位置に動かした日本		・同経度・同緯度の国や都市、さまざまな位置に動かした日本などから日本の位置の特色を、地球儀や世界地図を適切に活用して考察している。		・世界的な視野から見た日本の位置の特色を理解している。
	1 2 日本と世界との時差をとらえよう (p. 130～131) ・各国の標準時と時差		・なぜ世界各国で標準時が決められているのか、時差の計算はどのような時に役立つかを国際化した生活場面と関連づけて捉えている。		・標準時と時差の仕組みを理解し、時差を正しく計算している。
	1 3 日本の領域の特色を見てみよう (p. 132～135) ・日本の広さを見てみよう ・日本の領域 ・領土をめぐる問題	・日本の領域や国境を、地球儀や地図を活用して意欲的に学習している。	・日本の領域の特色や領域をめぐる問題を世界的な視野から考察している。		
	1 「地理」にアクセス」日本列島を構成する島々				
	1 4 いろいろな見方で都道府県を探ろう (p. 136～137) ・都道府県と県庁所在地 ・都道府県や市町村の境界	・都道府県の境界や現在に残る昔の地名・旧国名について、地図や資料を使って意欲的に調べている。		・日本の輪郭・形状の特色を捉えて、日本の略地図を描いている。	・都道府県や県庁所在地の名称と位置を地図上で身につけている。
	1 5 日本をいくつかの地域に分けよう (p. 138～139) ・都道府県を基に区分する ・自然や文化を基に区分する		・日本の地域区分を、さまざまな指標によって多面的・多角的に考察している。		・7地方区分を、地方名も含めて理解し、その知識を地図上で身につけている。
<<地理>>第2章 世界から見た日本のすがた【6時間】 【単元の目標】 ○世界的視野から見た日本の地域的特色や、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点から捉える活動を通して、日本の国土の特色を大観させる。					

○四つの観点から、世界と日本、日本の国内の地域間を比較し関連づけて考察することで、日本の地域的特色を多面的・多角的に捉える視点や方法を身につけさせる。					
1	1	1 世界の地形 (p. 142～143) ・地震の震源や火山が連なる地域 ・安定した陸地	・景観写真や地図帳等の資料から世界の地形を大観し、山脈や平原がどのように分布し、形成されたのかについて関心を高めている。	・地震の震源と火山の分布図を読み取る作業を通して、両者が重なることに気づくとともに、世界には地震や火山が多くて不安定な地域と、それらがなく安定した地域があることに気づく。	
1	2	2 日本の山地と海岸 (p. 144～145) ・険しい山地 ・変化に富んだ海岸 ・日本を取り囲む海		・リアス海岸と砂浜海岸の景観写真を比較したり、日本周辺の海底地形の断面図を読み取ったりして、日本の海岸の地形の多様性や特色を考察している。	・日本の国土における山地・丘陵地の占める割合や、山脈・山地・火山の分布などを理解し、代表的ないくつかの地名を身につけている。
1	3	3 日本の川と平地 (p. 146～147) ・急で短い日本の川 ・さまざまな地形が見られる平野		・世界と日本の川をグラフや景観写真、主題図などを用いて比較し、それぞれの位置や形状の特色を考察している。	・平地の種類やでき方、土地利用の様子等について、地形図や景観写真を用いて説明している。
3 (4)	1	【地理スキル・アップ 14】 地形図の読み取り方① (p. 148～149)		・断面図を描き、高低差による地形の特色や土地利用などについて説明している。	・地形図の種類や縮尺、方位、等高線、地図記号の基本的な読み取り方を理解している。
	1	4 世界から見た日本の気候 (p. 150～151) ・日本が属する温帯 ・地域によって異なる日本の気候	・同じ温帯でも地域によって違いがあることに興味を持ち、意欲的に学習している。	・季節風や梅雨、台風が、それぞれ人々の生活にどのような影響を与えているか、各種の資料や日常生活場面と結び付けて考察している。 ・日本の気候区分について、雨温図や分布図を基に比較し、その特色を適切に表現している。	
	1	5 自然災害と防災への取り組み (p. 152～153) ・さまざまな自然災害 ・被災地へのさまざまな支援 ・防災対策と防災意識		・地震や火山の噴火、津波などさまざまな自然災害を取り上げ、報道記事や映像資料などを用いながら、日本の自然環境の特色や人間活動と関連づけて考察している。	
	1	まとめ	・防災への具体的な取り組みを意欲的に調べて発表するとともに、身近な地域における災害時の避難方法や避難場所などの在り方について考えている。		